

【23_103思考系メルマガ】行動にも表れる "一貫性"

〇〇さん

こんにちは、クロです。

Twitterなどを見ていると、ポジション決済した後で「今日はもう終わり！」と言いながら結局またチャンス(?)を見つけて結局トレードした、なんて話がよくありますね。

▼たとえば▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1643756751219724288?s=20>

こういう所にも、トレードにおける一貫性の大事さというものが隠れています。

□
■ あなたが振っているサイコロは『いつも同じ』ですか？
└──────────┘

たとえば、ルールとして1日(1マーケットタイム)でトレードする回数を決めて、そのテスト結果に沿ってトレードしているのなら

規定回数トレードしたらそれ以上やるのはルール違反。

検証通りのトレードをしてないわけですから、テストで得られた統計データとの比較が取れなくなってしまうです。

それで勝っているうちは良いですが(ほんとは良くないですよ)、ルールに背いた結果負けが込んでいたのでは

その前にやっていたテストや検証はなんだったの?ってことになりますよね。

例えば僕の場合ですが

メイン口座で取引する時間は『LN時間初動から3時間』と明確に決めたうえで

建値での入り直しはあっても、勝つか負けるかしたらそこでその日のトレードは終了。

基本条件をこれで固定して、これまでに一貫してテストデータを取って利回りを見てきたので

この通りにトレードしないと、理論上テスト通りの結果が得られないことになるわけです。

ただでさえ、相場の不確実性を許容しながらトレードしなくてはならないのに

傾向として得られたデータに基づかないトレードをしていては、いつまでも損失に対する見えない恐怖と隣り合わせで戦わなくてはなりません。

こういう問題を放置しているから、いつまでもトレードに対して怖いという感情が残り続けるし、そもそも収支が安定しないのです。

ルールを作り設定するということは、すなわちトレードにおいては『自分との約束』です。

他人と交わした約束を破れば、当然叱られたり何かしらのペナルティがあるでしょうが

自分との約束を仮に破ってもそれを知っているのは自分だけなので、叱る人はいません。

ですが、そこに甘んじていつまでも自分との約束を平気で反故にする人は、いつまでも一貫した行動は取れないし、トレードで生き残り続けるのも難しいでしょう。

それが嫌であれば、今日の話を咀嚼して、自分がどうするべきかを考えてみてください。